

ほほえみ♡たいむ No. 1

令和8年8月4日(火)
社会福祉法人 平田保育会
病児病後児保育ほほえみ

このところの猛暑日続きで、熱中症対策などの体調管理が大変な今日この頃ですね。

先日は「ほほえみまつり&のびのび見学会」に多数お越しいただきありがとうございました。今年は例年の内容に加えて、昨年好評だったほほえみでいつも提供しているうどんの試食も行い、めでたく用意していた60食がきれいになくなり、うれしい悲鳴でした。今年新たなコーナーとして七夕の笹竹を用意して短冊を書いていただき飾ったり、同じく七夕にちなんだ顔出しパネルを用意して記念撮影をしていただいたりしました。詳しくは下記の写真にてご覧ください。

病児病後児保育の今年度の利用状況ですが、4月から6月中旬までは定年に比べて利用がかなり少なく、感染症などの流行がなかったこともありみんな元気で過ごせたようでした。

6月後半からは手足口病が流行し始め、ほほえみの利用も増加しました。6月下旬の感染状況では一医療機関当たりの感染者数が全国で最も多く、ニュースでも取り上げられましたが、ピークを過ぎてやや下火になったようです。一方で新型コロナ感染症が依然として根強くみられますので要注意です。夏は出かける機会も多くなります。感染対策を心がけ、元気に過ごしましょう。



7/4(土)にほほえみまつり&のびのび見学会を行いました。梅雨末期の蒸し暑い気候ではありましたが、24組74名の方々にお越しいただき賑やかに開催することができました。昨年度に引き続きパネルシアターでは、3回に分けて異なる内容を上演しました。何度も見に来てくださる方もおられ、みなさんに喜んでもらいとても充実したコーナーになったのではないかと思います。その他のコーナーでもたくさんの笑顔が見られ、とても賑わっていましたよ。お忙しい中足を運んでくださりありがとうございました。



パネルシアター



顔出しパネル



リユースコーナー



短冊飾り



及川先生とのリモート体験



うどん試食



金魚すくい



あそびのコーナー



夏の感染症(手足口病・ヘルパンギーナ・咽頭結膜熱)にご注意ください

現在、子どもを中心に夏の感染症が流行しています。夏の感染症は、一度感染しても原因となるウイルスが複数タイプあるため、同じ病気でも1シーズンに繰り返しかかることもあります。保育所や学校など集団生活の中では感染が広がりやすいため、ご家庭でも感染拡大防止へのご理解とご協力をお願いします。ほほえみでも、お子さまが安心して過ごせるよう感染症対策に努めています。

手足口病

症状

- 手のひら、口の中、足の裏、お尻に赤い発しんが出る
- 下痢
- 発熱 など

解熱し普段通りの食事が食べられていれば、発疹が残っていても登所可能



ヘルパンギーナ

症状

- 38～40℃の高熱が2、3日続く
- 喉の奥に白いぶつぶつができる
- のどの痛み
- 食欲不振 など

解熱し普段通りの食事が食べられ、全身状態が良ければ登所可能

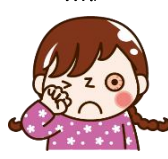


咽頭結膜熱(プール熱)

症状

- 発熱(38℃以上)
- のどの痛み
- 目の充血
- 目やに、涙
- ※熱は3～5日続く

眼の充血など主要症状がなくなってから2日経過していれば登所可能



ご家庭で気を付けていただきたいこと

- ①**毎日の健康観察**：登園前に発熱、発疹、口の痛み、目の充血、食欲、機嫌を確認しましょう。
- ②**水分補給**：口の痛みで飲食を嫌がることもあるため、冷たい飲み物やゼリーを少量ずつこまめに与えましょう。
- ③**手洗い習慣**：アルコール消毒だけでは不十分な場合があります。帰宅後・食事前・おむつ交換後、トイレの後には流水・石鹸での手洗いを徹底しましょう。
- ④**タオルや食器の共用は避けましょう。**

受診を急いでほしい症状

- ・水分がほとんど飲めない
- ・おしっこの回数が少ない
- ・ぐったりしている、寝てばかりいる
- ・呼びかけへの反応が悪い
- ・高熱が数日続いている
- ・激しい頭痛、繰り返す嘔吐がある



※登所の目安は一般的なものですので、各保育所・園にご確認ください。

～ほほえみは、絵本から児童書まで豊富に取り揃えています～

絵本、図鑑、月刊絵本、児童書を合わせ約350冊あまりの子ども用の本を取りそろえています。その中から0～2歳児さんに人気の『とよたかずひこ』さんの絵本を紹介します。みんながよく知ってる「ももんちゃん」「バルボンさん」「おいしいともだちシリーズ」…どの絵本も、読み手も、読んでもらう子もゆったりと、のんびりとした気持ちにさせられます。ほほえみでは、子どものリクエストに応じて何度も何度もよみかかせをしています。泣いていた子どもだんだん落ち着いて、穏やかな表情になりますよ。



「でんしゃにのって」

うらちゃんが一人でおばあちゃんちにお出かけ。いろいろな駅名と、動物たちが出てきます。電車が満員になり、うらちゃんが眠ってしまうと、降りる駅でみんなが起こしてくれました。



「しづがきさんがね…」

渋くて誰も食べてくれない。その時カラスさんが決め台詞の「しんぱいごむよう」おしくなる方法を教えてくださいました。



全国病児保育研究大会に参加して

7月19日(日)20日(月・祝)青森県八戸市にて、「こどもの育ちの保障」～病児保育が果たすべきこと～のテーマの下、全国病児保育研究大会が行われ、ほほえみの職員も参加しました。

実践発表では、病児保育室の認知度を高める取り組みや、利用する子どもの遊びの充実を図る取り組み、地域への働きかけをする取り組みなど、子どもの健やかな育ちを支えるために何が大切かを改めて考えることができた研究大会でした。ほほえみでもお子さんと保護者が安心できる「ホットステーション」となれるよう努めていきたいと思ひます。

以前とよたかずひこさんの「読み聞かせ講座」のときに、「絵本の読み手も楽しむことがたいせつ」ということを教えていただきました。



お知らせ

8月13日(木) 14日(金) 15日(土)はお休みします。

12日(水)は、開所しますが、給食の提供ができませんので、利用される際は、お弁当を持っけてきて頂きますようお願いいたします。